

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム かりア桜ヶ丘 新築工事	階数	地上4階
建設地	平塚市桜ヶ丘151-1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	160 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2013年7月31日
敷地面積	3,286 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社奥野設計
建築面積	1,947 m <sup>2</sup>	確認日	2013年7月31日
延床面積	6,278 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社奥野設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

**LR のスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	地球環境への配慮とともに、経済的観点からの省資源・省エネルギーを図る。また、災害時対応、景観や緑化への配慮を通じて地域に愛される施設づくりを目指した。	<b>その他</b> 受水槽の配置、備蓄倉庫の設置、屋上スペースのしつらえにより、災害時における避難場所として地域に貢献できる計画とした。
<b>Q1 室内環境</b>	全ての開口部に T-2等級以上のサッシを採用し、各室にバルコニーとカーテンを設置した	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物の形状、外観の色彩において、周囲の環境とバランスよく調和するよう配慮した 建物内に地域の交流スペースを設け、地域のにぎわいに貢献する計画とした
<b>LR1 エネルギー</b>	中庭およびトップライトにより採光が可能な計画とした。	<b>LR3 敷地外環境</b> 緑化、廃棄物、景観、雨水流出抑制の事前協議を行なっている。
<b>Q2 サービス性能</b>	基本設計の段階から建物の機能を促進する内装計画を行った 外装には低汚染型の塗装を、内装は塩ビ床、壁紙を採用し、維持管理の容易な計画とした	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	建材の再利用が可能なように内装には乾式工法を多様する計画とした。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される